

投票番号
5

ただのレンタルスペースではない、 沼津のチャレンジ拠点をつくる

- 沼津駅北口 から徒歩約7分、リコー通り付近の既存ビル 1階を、
多様な挑戦を後押しする 地域の活動拠点へ整備 します。
あなたの「やってみたい」を実現できる空間 です。
- 場所を貸して終わりではなく、
企画・準備・告知・集客・開催後まで一緒に進める、
伴走型の拠点を目指します。

教室・講座を開く

作品を展示・発表する

あなたの「やってみたい」を
実現する場に

ワークショップを
開催する

ヨガや
健康活動を行う

親子向け
講座を開く

交流会や新しい
企画を生む

一緒に沼津を盛り上げましょう！

事業の
ねらい

- 空いているビルの1階を活用し、沼津駅北口に新しい活動と人の流れが生まれる場所をつくること。
- 活動を始めたい人が、場所探しや集客を一人で抱えず、実際の開催まで進められる環境を整えること。
- 企画から開催後の継続まで伴走し、沼津から新しい活動者や地域企画が育つ仕組みをつくること。

事業計画書

事業名	ただのレンタルスペースではない、 沼津のチャレンジ拠点をつくる
実施場所	沼津市高島町 24 番地 16 中井ビル 1F
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 R8 年 9 月 15 日 ～ R9 年 3 月 31 日

◎事業概要

※事業の概要を 100～200 字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

教室・展示・ワークショップ・交流会等に活用できる多目的フロアを整備する。活動を始めた人が気軽に試せる場として活用し、活動者同士の交流機会づくりや、教室・イベント開催時の告知・参加者募集を支援することで、沼津にしながら新しい活動にチャレンジできる環境をつくる。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

沼津駅周辺のにぎわい低下と人口減少

沼津市は、かつて百貨店や商業施設が集まり、周辺地域から人が訪れる商業のまちとしての印象が強い地域でした。私自身も三島市で育ち、子どもの頃は「遊びに行くなら沼津」という感覚がありました。しかし、大人になるにつれ、沼津駅周辺の人通りや商業のにぎわいが以前より弱くなっていることを実感しています。国勢調査による沼津市の人口推移を見ても、平成 7 年の 216,470 人から令和 2 年には 189,386 人となっており、約 27,000 人減少しています。人口減少が進む中で、まちなかに新しい人の流れや活動を生み出すことは、地域の活力を維持するうえで重要な課題であると考えています。

若い世代が市外・県外に目を向けやすい背景

沼津は東京方面へも出やすい立地であり、進学や就職、刺激のある環境を求めて市外・県外に目を向ける若い世代もいると感じています。市外へ出ること自体を否定するものではありませんが、「新しいことに挑戦するには沼津を出なければならない」と感じる人が増えると、地域で活動する人や、まちなかに関わる人が少なくなってしまう。一方で、沼津にも想いや経験、技術を持つ人は多くいます。若い世代が、沼津にいらがらでも活動を始められる環境や、地域の中で刺激を受けられる場をつくる必要だと考えています。

子育て世代・個人活動者の交流機会不足

近年は共働き世帯も多く、地域行事や学校・保護者活動への関わり方も変化しており、以前に比べて地域の中で自然につながる機会は少なくなっていると感じています。そのため、子育て世代は地域とつながる機会や、自分のやりたいことを形にする機会に限られやすい面があります。また、講師・作家・個人事業主など、個人で活動する人にとっても、活動者同士がリアルに交流し、協力関係をつくる場は多くありません。教室やワークショップ、展示などを始めたいと思っても、場所の確保、企画づくり、告知、参加者募集を一人で行う負担が大きく、最初の一步を踏み出しにくい状況があります。

解決のための取り組み

本事業では、既存ビル1階を多目的フロアとして整備し、教室・展示・ワークショップ・交流会等を開催できる場をつくります。あわせて、活動を始めたい人の企画づくり、告知、参加者募集を支援し、活動者同士の交流会や、親子・地域住民が参加できる体験イベントを実施します。

施設を単に貸し出すだけでなく、講師・作家・個人事業主等が継続的に活動できる機会をつくり、その活動に参加する地域住民や親子、若い世代がまちなかへ足を運ぶきっかけを生み出します。また、活動者同士が知り合い、協力し合うことで、新しい教室やワークショップ、展示、交流企画が生まれやすい環境を整えます。

これにより、沼津にしながら新しい活動にチャレンジできる環境をつくるとともに、地域内で人・活動・参加者がつながる循環を生み出し、沼津駅周辺の新しい交流と継続的なにぎわいづくりにつなげることを目的とします。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
2026 年 9 月 16 日 以降	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12 月 31 日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。 着工
2026 年 12 月	完工
2027 年 1～2 月	備品設置、ホームページ・SNS 等で周知、利用希望者募集、イベント準備
2027 年 3 月	起業家交流会または活動者交流会の開催

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

まちなかのにぎわい創出

教室・展示・ワークショップ・交流会等を実施することで、地域住民や親子、若い世代が沼津駅周辺へ足を運ぶきっかけをつくります。施設内での活動にとどまらず、まちなかに新しい人の流れと交流を生み出す効果が期待されます。

沼津でチャレンジできる環境づくり

活動を始めたい人が、場所の確保、企画づくり、告知、参加者募集を一人で抱え込まずに、小さく試せる環境を整えます。これにより、若い世代や子育て世代、講師・作家・個人事業主等が、沼津にしながら新しい活動に挑戦しやすくなります。

活動者同士の連携促進

活動者同士の交流会や体験イベントを継続的に実施することで、個人で活動する人同士のつながりや協力関係が生まれます。その結果、新たな教室、ワークショップ、展示、合同企画等への発展が期待されます。

継続的な地域活動の創出

本事業は、単なる貸しスペースの整備ではなく、人・活動・参加者がつながる仕組みをつくるものです。施設を拠点として継続的に活動が生まれることで、地域内のつながりを強め、まちなかの活力維持と地域活動の基盤形成につなげます。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 新規活動者数	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 利用申込時に新規活動者かどうかを確認し、施設利用台帳・開催実績・告知記録等により、本施設で初めて活動を実施した人数を集計する。
------	---	-------------	---

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的 必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 本事業は、沼津で新しい活動や交流が生まれるきっかけをつくり、まちの活性化や魅力づくりに寄与する施設整備です。 教室・展示・ワークショップ・交流会などを小さく試せる場を整えることで、地域で活動したい人が最初の一步を踏み出しやすくなります。 また、地域コミュニティやマルシェ等で課題になりやすい「参加者や出展者の固定化」に対して、新しい人との接点をつくる場としても活用します。 利用対象を特定の会員や専門的な利用者限定せず、子ども、子育て世代、働く世代、シニア層、地域講師、個人事業主、学生、地域作家、若い世代、Uターン・移住者などが利用できる施設として運営します。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 沼津市高島町は、沼津駅周辺のまちなかエリアに近く、徒歩・自転車・公共交通でアクセスしやすい立地です。 本事業では、現在十分に活用されていない既存ビルの1階部分を、地域の人が出入りできる多目的フロアへ再生します。1階は通りからの認知や入りやすさをつくりやすく、地域に開かれた拠点として活用しやすい場所です。 また、自社所有の建物であるため、短期的な利用にとどまらず、整備後も継続的に地域に開いた場所として運営できる点も、本事業をこの場所で実施する理由です。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 本事業の独自性は、空間を貸し出すだけでなく、弊社が企画・発信・予約導線づくり・参加者募集・人と人のマッチングまで関わり、地域の人の挑戦を開催まで支える点にあります。 一般的なレンタルスペースでは、利用者自身が企画、告知、集客、予約管理を行う必要があります。しかし、本施設では弊社のWeb制作・マーケティングの経験を活かし、利用者の活動を施設側でも紹介し、必要に応じて告知や予約導線づくりを支援します。 単なる貸しスペースではなく、表現・地域交流・小さな挑戦・人と人のマッチングを横断する、伴走型のまちづくり拠点として整備する点に本事業の新規性があります。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。

	弊社は、対象となる沼津市高島町 24 番地 16 の 4 階建てビルを保有しており、1 階部分を活用する計画です。自社所有物件で実施するため、整備後も継続的に活用しやすい点が強みです。 工事については、内装工事を中心に約 1 か月を予定しており、12 月末までの施設整備完了条件にも対応可能です。内装工事費は現時点で約 300 万円を見込んでいます。 資金面については、沼津信用金庫にて融資申請中であり、自己資金・融資・補助金を組み合わせて実施する計画です。 また、弊社は Web 制作・マーケティングを自社で行ってきたため、施設整備後の周知、予約受付、イベント告知、参加者募集も継続的に行うことができます。今後は、実際に利用を希望する講師・作家・個人事業主・地域活動者等の声も集め、具体的な活用見込みを整理していきます。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 本施設は、整備して終わりではなく、継続的に地域活動を生み出す拠点として運営します。 まずは、貸しフロアとして利用者を募りながら、弊社も地域向けの小規模イベントや交流会を企画します。 想定する発展内容は以下の通りです。 ・月 1 回の地域向け体験イベント ・何かを始めたい人向けの交流会 ・教室・展示・ワークショップのチャレンジ利用 ・講師、作家、個人事業主、子育て世代のマッチング ・既存コミュニティの枠を越えた合同イベント ・子ども、親子、シニア向けの地域参加企画 弊社の Web 制作・情報発信の経験を活かし、施設整備後もホームページ、SNS、Google ビジネスプロフィール、地域チラシ等で継続的な集客と情報発信を行います。 本事業を通じて、沼津で新しい活動を始める人、活動を広げる人、地域とつながる人を増やし、沼津発の活動者が生まれ続ける拠点として育てていきます。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または 2 回目の応募で、助成の継続（最大 3 年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

整備後は、貸しフロアとしての利用料収入を基本に継続運営を行う。あわせて、活動者同士の交流会、親子・地域住民向け体験イベント、教室・ワークショップ・展示等を定期的実施し、新規活動者の発掘、告知支援、参加者募集支援を継続する。ホームページ、SNS、Google ビジネスプロフィール等を活用して情報発信を行い、地域内で人・活動・参加者がつながる仕組みを育てていく。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。